

1. 報告要旨

東アジア地球市民村は、昨年、自然共生の社会を目指す市民同士の交流と連携の場として、上海で準備ゼロ回を開催した。予想以上の反響とともに、新しいつながりもたくさん生まれて、一年間、様々な交流が行われてきた。その波に乗り、2015年3月14～16日に、同じ上海で、「スロー、スモール、シンプル: アジアの英知と持続可能な社会」をテーマに、正式第一回を大々的に行い、スローという発想はたくさんの共感を得て、前回は上回る大盛況だった。参加者数は初日だけで400人を超え、地元の上海および周辺地域からの参加者がもっとも多かったが、成都、雲南、福建、北京など遠方から来た方も少なくなかった。二年連続参加する人や、口コミで情報を得た人は多かったようで、この活動は必要とされていて、そしてそのネットワークが広まったことを実感した。

二回目の実施であったため、前回の教訓と経験に踏まえて、運営体制に力を入れた。40人を超えたボランティアスタッフが実行委員会の下でそれぞれの役割をはたして、現場の流れがよりうまく行くようになった。また、韓国でネットワーキング活動によって、初めて韓国からの参加者を迎え、やっと日中韓台、東アジアの市民が一堂に会すことを実現できた。海外からの参加者は30人近く、そのなか、日本から21人、韓国から3人、台湾から3人。

初日は、基調講演から始まり、講演者の辻信一さんは「スロー、スモール、シンプル」という持続可能な社会へつながる道を急速に発展している中国の皆さんに提示した。プレゼンの時間では、「自然教育」、「廃棄物」、「社会企業」など東アジア各地域で行われている実践活動の紹介は、四つの会場で同時に進行された。発表者は、NPO、企業、学校、行政など、前回よりも幅が広がった。夜の『自然農法』上映会と辻信一さんのトークでは、観客が登壇して感想を熱く語る場面も。最後に、香港 PCD が寄贈してくれた『自然農法』のサイン会では長い行列ができて、遅くまで行われていた。翌日は、中野民夫さんがファシリテーターを務めたワールドカフェで、150余りの参加者が「東アジアの伝統知恵と持続可能な社会」について議論した。午後の分科会では、「食」、「農」、「ライフスタイル」、「学習」など4つのテーマがあって、日中韓台の実践者たちがそれぞれの考えや経験を参加者と共有した。夜の音楽ライブでは、ミュージシャンが奏でる平和な音楽のなかで、全体が一つになって、輪になって静かに音楽を聴いたり、一緒に踊ったりした。最終日のオープンスペースで、参加者は20以上のテーマを提示し、上海南京ピースウォークは11月に行う予定。本会場のほか、展示やマルシェも併設されていて、来場者は様々な交流と体験ができた。本会議が終わった後、一部の海外参加者はスタディツアーで大理を訪れ、いろんな現場を見ながらいろんな交流をし、現地の人たちに地球市民村の様子を報告した。

この二年で、東アジア地球市民村のネットワークが確実に広まって、応援者がたくさん現れ、今回は参加者からこれからの活動資金として1万ドルの寄付をいただいた。

2. 成果物

1. [.引き算する知恵 \(『上海第一財經』 2015/3/20\)](#) (和訳 <http://csnet.asia/archives/17373>)
2. [教育で変化を、WWF が東アジア地球市民村を応援](#) (WWF China HP 2015/3/16)
3. [映像: 榎田寒平が東アジア地球市民村で「チョンチョに」を歌う](#) (Kushida Kampei/Youtube 2015/3/17)
4. [「Slow is Beautiful-HOME 報告会」](#) (HOME 書房 WeChat 2015/3/30)
5. 東アジア地球市民村報告会資料: [プレゼンテーション](#)、[原稿](#) (提供: HOME 書房)
6. [東アジアの伝統知恵と理想の3S の道を探る](#) (華会所生態環境基金 HP 2015/3/17)
7. [第 1 回東アジア地球市民村大盛況で終了](#) (愛可愛諮詢(上海)有限公司 HP)
8. [東アジア地球市民村準備ゼロ回映像ショートバージョン](#)
9. 準備ゼロ回映像スタディツアー [full version 1](#) [full version 2](#)
10. 準備ゼロ回映像フルバージョン [full version 1](#) [full version 2](#) [full version 3](#)